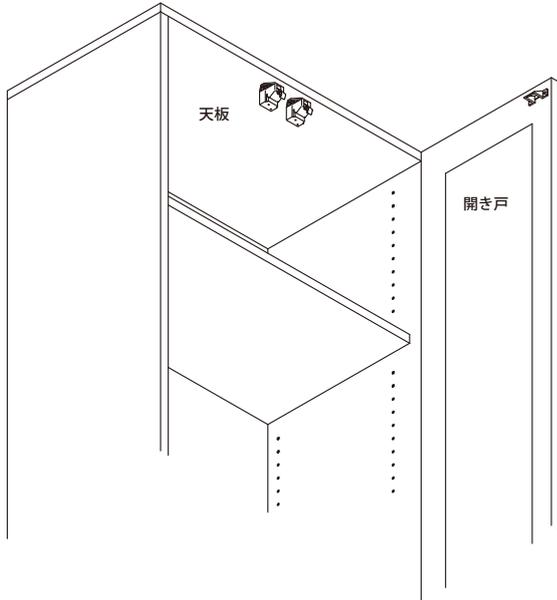


これひとつで、安心!
地震に強い

震護くん™ 取扱説明書

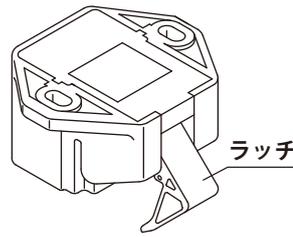
このたびは、震護くんをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
取付ける前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
取付け方を間違えると、作動しない場合があります。
また、本紙裏面には、耐震ロックを扱う際の注意事項などが記載されています。
取付け後に必ずお読みいただき、耐震ロックを正しくお使いください。



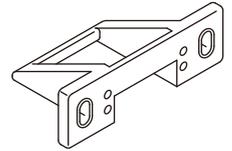
⚠ 取付けの際は、工具及びパーツの取扱いに注意してください。

パーツを確認してください。

最初に必要なパーツが揃っているか確認してください。



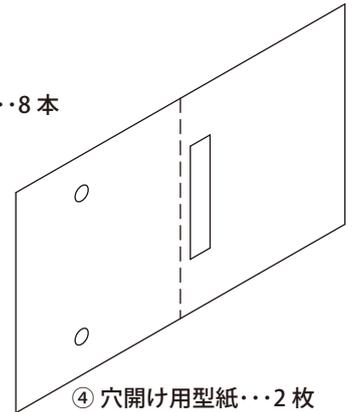
① 耐震ロック本体・・・2個



② ロック受け・・・2個



③ 取付ネジ 3.5×16・・・8本



④ 穴開け用型紙・・・2枚
(この取扱説明書左下についていますので、はさみでカットしてお使いください。)

用意していただくもの

- プラスドライバー
(工具を用意してから作業を行ってください。)
- キリなど (先が尖ったもの)

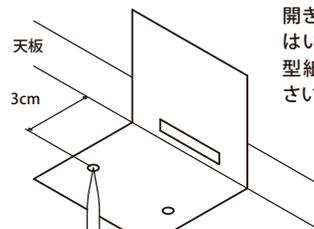
1 取扱説明書から穴開け用型紙④2枚を切り取ってください。



2 天板に取付ける耐震ロック本体①の取付け位置を決めます。
穴開け用型紙④の山折り線で折り目をつけ、天板の角と山折り線を合わせて耐震ロック本体止めネジ位置にキリなどで下穴を開けてください。

☑ チェック!!

開き戸の端から 1cm 内側にはいったところに穴開け用型紙④の端を合わせてください。



☑ チェック!!

天板にパッキン等が使用してある場合はパッキンの先端から 3cm としてください。

☑ チェック!!

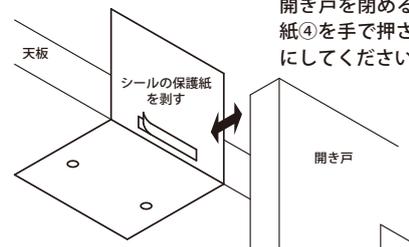
下穴を開けるときは穴開け用型紙④を手で押さえてズレないようにしてください。



3 穴開け用型紙④を天板の角に合わせた状態で穴開け用型紙④のシールの保護紙を剥し、開き戸を閉めてください。

☑ チェック!!

開き戸を閉めるときは穴開け用型紙④を手で押さえてズレないようにしてください。



裏面

裏面

<のりしろ>

のりしろ

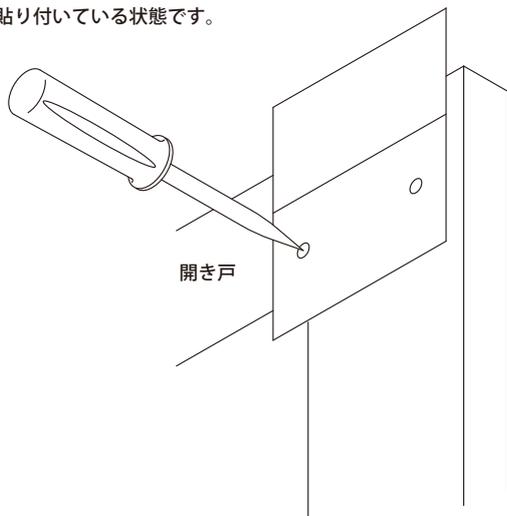
<のりしろ>

のりしろ

4 開き戸の内側に取付けるロック受け②の取付け位置を決めます。穴開け用型紙④が開き戸裏面に貼り付いた状態で開き戸を開け、ロック受け止めネジ位置にキリなどで下穴を開けてください。

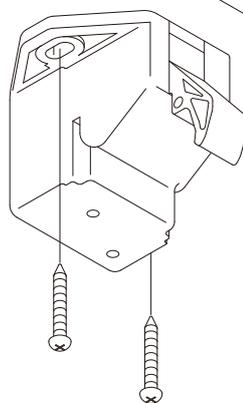
チェック!!

この図は穴開け用型紙④がシールで扉裏面に貼り付いている状態です。



5 天板に耐震ロック本体①を取付けます。穴開け用型紙④で開けた天板の下穴位置に合わせて取付ネジ③で耐震ロック本体①を取付けます。

天板



チェック!!

長穴のセンターを中心に取付けてください。

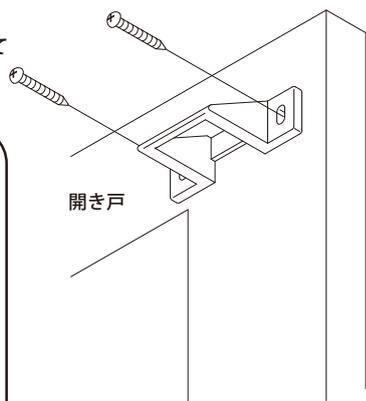
チェック!!

ネジが入りにくい場合はキリなどで下穴を大きくしてください。

6 開き戸にロック受け②を取付けます。穴開け用型紙④で開けた開き戸の下穴位置に合わせて取付ネジ③でロック受け②を取付けます。

チェック!!

長穴のセンターを中心に取付けてください。



チェック!!

ロック受け②の向きに注意してください。



※平らな方が下になります。

チェック!!

ネジが入りにくい場合はキリなどで下穴を大きくしてください。

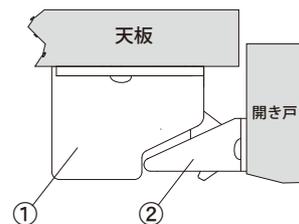
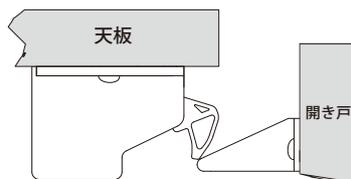
完成図

扉を閉めたとき、耐震ロック本体①にロック受け②が入れば取付け完了です。

うまく開き戸が閉まらない場合は、長穴を利用して取付け位置の調整をしてください。

チェック!!

通常、ロックはフリーの状態なので扉の開閉は問題なく行えます。



チェック!!

開き戸の開閉時に「カチッ」と音がありますが、この音はうまく取付けられている証拠ですので、ご安心ください。

しんご **震護くん**™ 注意事項

- 震度5弱程度で作動します。
- 天板裏に段差がある家具には取り付けられない場合があります。
- 開き戸がガラス製、金属製の場合は取付けが出来ません。
- パネ付蝶番が付いた開き戸へのご使用を推奨します。
- 天板、開き戸にパッキンが付いている家具には取付かない場合があります。
- 天板、開き戸の強度の弱い箇所には取付けしないでください。
- 取付け方法は取扱説明書に従って行ってください。(ロック受けの取付けを逆にすると作動しません。)
- 天災時の保証はいたしかねます。
- キッチン、収納家具の開き戸以外には使用しないでください。
- 本体は必ず天板裏へ水平に取付けてください。
- 取付け後、扉の開閉に合わせて「カチッ」と音がするかの動作確認を必ず行ってください。
- フックが下がったままロックして動かない場合は、取付け面を上にして水平な場所に置いて、軽く揺すって頂きますとロックが解除されます。